



2020～2021年 国際ロータリー 第2620地区 静岡第4グループ

焼津ロータリークラブ会報

会長テーマ「知行合一」

会長 杉本 昭

会長エレクト 大石 博之

例会日/毎週木曜日12:30～13:30

幹事 村田 昌弘

副幹事 芳村 正樹

例会場/焼津グランドホテル

事務所/静岡県焼津市三ヶ名1671番地 ヤマキンビル302号室

第2890回例会(第3回)・通常総会・クラブ協議会「委員長就任挨拶」

7月16日(木)12:30～ 例会場:ホテル アンビ・ア松風閣

司会 村田 昌弘 幹事

ソングリーダー 親睦活動委員会 中山 晃一 君 ♪私の生業 ♪今、潮騒のまちで



会長挨拶

杉本 昭 会長

今年度は初回が7月2日で日程的に窮屈だったために例年、年度初めの第2例会で行われている通常総会を本日の第3例会で開催することになりました。加えて、先週に続いて今週のクラブ協議会で本年度のクラブ運営と奉仕PJ活動、周年事業、地区への対応活動等が網羅され、計画が出そろいます。



また地区においては、7/19の財団セミナー、7/26の米山記念奨学セミナー、8/30の地区会員増強セミナーと畳み込むように開催通知が届き始めました。

クラブでは7/30に本年度初回の定例理事会、8/06の指名委員会、8/20当クラブ例会への「ガバナー補佐訪問」とクラブ協議会が予定されており、奉仕プロジェクトの活動として職業奉仕委員会による8/06の「早朝座禅例会」、国際奉仕委員会による8/08の「いちご しゅくだいひろば」が予定される等、いよいよ本年度が本格的に動き始めた実感するようになり身の引き締まる思いです。

計画に織り込まれた数々の活動機会を会員皆で共有し行動に繋げるよう呼びかけさせていただき、会長挨拶とさせていただきます。



理事会報告

村田 昌弘 幹事

- 以下の通り、指名委員会の委員の選出を行いました。
杉本昭君 大石博之君 芳村正樹君 鈴木啓央君 浅原博君 吉田典充君 水野康男君 村田昌弘君



会員のお慶び

渡仲 康之助 君

本人誕生祝

増田 一郎 君 (S23.7.17)

夫人誕生祝

豊島 恒之 君 (真理子様) 7.25



スマイル報告

塩川 彰 君

多々良 匡 君

永年の夢でありました関西、四国一周、中国地方を10日間かけて自動車であつて来ました。どの県でも感染対策しっかりして安心して。観光地でガラガラに空いていてゆっくり見て廻れ、ちなみに奈良東大寺の拝観はわずか8名だけでした。思い出の多い旅となりました。

豊嶋 孝一 君

プログラム委員会を拝命しました。皆様のお力をお借りして精一杯頑張ります。宜しくお願い致します。

朝顔の会へのお礼スマイル

(敬称略) 久保田、青島、倉嶋、松村、岡村、大石博、杉本、奥川、村田、吉田典、村松、福崎、吉田雄、芳村、中山、金丸、藤島、八木、見原健、坂本、高橋、佐久間、見原範、松本

青少年奉仕委員会 清水誠一委員長
 プログラム委員会 豊嶋孝一委員長
 米山委員会 青島直久委員長
 国際奉仕委員会 金丸好孝委員長
 戦略計画委員会 浅原 博 委員長



通常総会(決算・監査報告・予算(案)の審議)

焼津ロータリークラブ内規第12条により、通常総会を開会します。焼津ロータリークラブ細則第3条第1節により、議長を杉本会長にお願いします。

会員総数 55名 本日の出席者 45名であり、焼津ロータリークラブ細則第4条第4節で定められた会員総数の3分の1を満たしておりますので、本総会が有効に成立することをご報告いたします。

- | | | | |
|-------|-------------------------|------------------------|--------------------|
| 第1号議案 | 前年度決算報告
監査報告
質疑応答 | 前年度会計
前年度監査
特になし | 倉嶋 伸康 君
吉田 雄一 君 |
| 第2号議案 | 本年度予算(案)
質疑応答 | 本年度会計
特になし | 倉嶋 伸康 君 |

第1号・第2号議案とも承認されました。



出席報告

	会員数	出席数	出席率	7月2日 M-UP	確定 出席率
7月16日	55 (55)	45名	81.82%	2名	76.36%

メイクアップ

浅原 博 君 (委員会) 深沢 英雄 君 (委員会)

クラブ協議会

委員長就任挨拶②

総括

杉本 昭 会長

先週と本日の2回に分けて、今年度の委員会活動の計画が各委員長から説明されました。皆さんもご承知のように、今年は当クラブ設立60周年の節目の年になります。従いまして、今年が目玉が周年事業にあるのは言うまでもありませんが、私としては、この年を単に周年事業を行い、それが成功裡に実施されることが全てである、ということにははしたくないと考えてきました。

一つには、年間を「周年記念年間」と捉えて、委員会一年間の各事業を濃密なものにしていただき、振り返ったときに記憶に残る1年にしたいと考えていました。二つには、これから価値観が大きく変化していく時代に向けて、長期的な視点で今年の各事業の在り方を将来にどうつなぐかを考えながら(即ち、事業の棚卸をしながら)事業を進めて行きたいと考えていました。ところが本年の60周年はスタート前からコロナ禍に見舞われ、地区の今期に向けた準備行事の全てが延期の上に中止またはDVDと冊子の配付になってしまいました。クラブ内においても前年度例会が13回中止となり、クラブ協議会や炉辺会合さえ控えなければならない状況です。世の中では、ZOOM等によるテレビ会議、リモートワーク、テレワーク等の在宅の遠隔勤務や時差出勤、隔日勤務等、ひと昔前には考えられなかったような急激な変化が起きています。多分、仕事や活動、価値観や生活そのもののスタイルが急速に変化していくものと思われます。私たちのロータリーの活動も無縁でいられないのは当然でしょう。

クラブの基盤を固めるための中期的な戦略計画、それに基づいた年度計画、中期ビジョンを実現するための継続的な活動計画、充実したクラブ運営。地区から提供された冊子や各種情報からこんなことが浮かび上がって見えました。そうしたことから、私はクラブ組織編成時に、①ベテラン委員長と中堅副委員長、またはその逆の組み合わせ、②全会員のクラブ運営委員会への所属、③入会年次若い順の奉仕プロジェクトの委員任命、それに加え地区から提供された資料を基に、④戦略委員会の再設置、⑤クラブ管理運営委員会へ幹事と会計をメンバーに追加、等を行いました。

さて本番は今日からです。私は『知行合一』をターゲットとしました。一つ一つの活動の「機会」を捉え、会員の皆さんと一緒に一つ一つをしっかりと考え、しっかりと活動していくように努めたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。

